

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	古典 B	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	精選古典 B 改訂版（第一学習社）						
副教材等	「新国語便覧」（第一学習社）「重要古文単語 315」（桐原）「これからの古典文法」（尚文）「読み解く古典」（浜島）等						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・三年の古典ではこれまで学習した文法の識別を中心に学習していきます。これまでの内容があまり理解できていないと感じる人はしっかり復習をしておきましょう。
- ・各教材毎に予習をしてきてもらいます。予習を自力でやることは古典の読解力を養うことに直結しますので、しっかり取り組んでください。小テストの勉強や、復習にも励みましょう。
- ・提出物の期限は守りましょう。また、定期考査には学習計画を立てて臨んで下さい

2 学習の到達目標

- ・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 読む能力	c: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。</p> <p>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準				評価方法
			a	b	c		
1学期	古典読解・古典文法	『大和物語』 「をばすて」 『枕草子』 「上にさぶらふ御猫は」 『大鏡』 「道真左遷」 「三船の才」	○	○	○	a: 予習に取り組んでいるか。 b: 口語訳ができたか。登場人物や筆者の心情を理解できたか。 c: 正しく音読できたか。 文法や時代背景、風習などを理解できたか。漢文と古文の関連性を理解できたか。	a: ノート b: 定期考査 c: 小テスト
2学期	古典読解・古典文法	『源氏物語』 「葵」 『和泉式部日記』 「薫る香に」 『陶淵明集』 「桃花源記」	○	○	○	a: 予習に取り組んでいるか b: 口語訳ができたか。登場人物や筆者の心情を理解できたか c: 正しく音読できたか 文法や時代背景、風習などを理解できたか	a: ノート b: 定期考査 c: 小テスト
3学期		『雨月物語』 「夢応の鯉魚」 『古文真宝後集』 「春夜宴桃李園序」	○	○	○	a: 予習に取り組んでいるか b: 口語訳ができたか。登場人物や筆者の心情を理解できたか c: 正しく音読できたか 文法や時代背景、風習などを理解できたか	a: ノート b: 定期考査 c: 小テスト

4 学習の活動

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 読む能力 c: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。